



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社 カナデン

上場取引所 東

コード番号 8081 URL <https://www.kanaden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本橋 伸幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 黒田 暢彦

TEL 03-6747-8805

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

2023年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	53,647	17.8	1,846	39.4	2,202	32.3	1,476	37.2
2023年3月期第2四半期	45,554	1.2	1,324	58.0	1,665	83.9	1,076	106.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,914百万円 (37.2%) 2023年3月期第2四半期 1,395百万円 (113.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	63.00	
2023年3月期第2四半期	40.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	76,712	45,794	59.7	1,952.48
2023年3月期	83,294	44,379	53.3	1,893.95

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 45,794百万円 2023年3月期 44,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		17.00		22.00	39.00
2024年3月期		24.00			
2024年3月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	8.1	4,600	15.9	4,800	13.1	3,200	10.5	136.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	23,600,000 株	2023年3月期	23,600,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	145,524 株	2023年3月期	168,009 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	23,438,374 株	2023年3月期2Q	26,644,833 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月7日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、経済活動の正常化や雇用・所得環境が改善する中、堅調な企業収益等を背景にデジタル化・脱炭素化をはじめとした設備投資が回復基調を持続し、内需を中心に堅調に推移しております。一方、ロシアのウクライナ侵攻は引き続き予断を許さず、中国の過剰債務問題の顕在化や欧米の金融引き締め等、海外経済の減速が懸念され、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループは、5カ年中期経営計画『Electronics Solutions・Company 2025 (ES・C2025)』の3年目として、技術力・企画力を高め、グループ内外との連携強化を図り、オリジナルソリューションの提供を通じ、高付加価値ビジネスを追求するとともに、社会の変化に即応し、SDGsへの取り組みを通じて、社会課題の解決に貢献し持続的な成長を実現する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」となることを目指し取り組んでおります。

これらの取り組みにより、製造業の設備投資需要が回復基調にあることと部材不足の改善もあり、FAシステム事業が順調に推移しました。情通・デバイス事業では、情報通信分野の電子医療装置案件が増加し、半導体・デバイス分野も堅調を維持したことから、売上・利益に貢献しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高につきましては、53,647百万円（前期比8,093百万円増）となりました。経常利益につきましては、為替の影響もあり2,202百万円（前期比537百万円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,476百万円（前期比400百万円増）となりました。

セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
FAシステム事業	売上高	18,600	21,325	2,725
	経常利益	889	1,154	265
ビル設備事業	売上高	4,827	6,013	1,186
	経常利益	△184	△41	142
インフラ事業	売上高	7,440	9,002	1,562
	経常利益	△172	△180	△7
情通・デバイス事業	売上高	14,686	17,306	2,619
	経常利益	832	977	145

①FAシステム事業

FA分野は、半導体供給不足による納期長期化の影響は改善傾向にあり、製造業の設備投資も回復基調にあることからコントローラシステムや駆動制御機器を中心に順調に推移しました。

産業メカトロニクス分野は、レーザ加工機が案件減少しました。

産業システム分野は、工場設備の更新需要により計測機器等が堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては2,725百万円の増収となり、経常利益は265百万円の増益となりました。

②ビル設備事業

設備機器分野は、情報通信事業者向け受変電設備案件が増加し、堅調に推移しました。

空調・冷熱機器分野は、店舗向け設備投資の回復により空調機器が順調に推移し、住設機器も堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては1,186百万円の増収となり、経常利益は142百万円の増益となりました。

③インフラ事業

交通分野は、無線通信機器は減少しましたが、車両の改造案件により車両用機器が増加しました。

社会システム分野は、官公庁案件が増加し堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては1,562百万円の増収となりましたが、人件費等の増加に及ばず経常利益は7百万円の減益となりました。

④情通・デバイス事業

情報通信分野は、金融機関向け画像・映像機器が順調に推移しており、電子医療装置の案件が増加し好調に推移しました。

半導体・デバイス分野は、産業機器関連顧客からの産業用パワーデバイスの受注は引き続き順調に推移し、電子デバイス品は家庭用電気機器向けが堅調に推移しました。一方で、データセンター向けHDD用ICは需要減少により苦戦しました。

その結果、当該事業としては2,619百万円の増収となり、経常利益は145百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、76,712百万円（前期末比6,582百万円減）となりました。

流動資産は、61,963百万円（前期末比6,851百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、現金及び預金が2,147百万円増加、商品及び製品が573百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が8,038百万円減少、未収入金が965百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、14,748百万円（前期末比269百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、繰延税金資産が161百万円減少、有形固定資産が88百万円減少した一方で、投資有価証券が361百万円増加、無形固定資産が158百万円増加したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、29,795百万円（前期末比7,990百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、前受金が721百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が7,020百万円減少、電子記録債務が794百万円減少、未払法人税等が484百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、1,122百万円（前期末比6百万円減）となりました。

純資産は、45,794百万円（前期末比1,415百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,476百万円計上、配当金の支払が515百万円あったこと等により、利益剰余金が951百万円増加、その他有価証券評価差額金が244百万円増加したことが主要な要因であります。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は59.7%、1株当たり純資産額は1,952円48銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,713百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には17,349百万円（前連結会計年度末比18.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、源泉である税金等調整前四半期純利益について2,200百万円（前年同期は1,616百万円）を確保出来たことに加え、仕入債務の減少7,987百万円、法人税等の支払額1,107百万円があった一方で、売上債権及び契約資産の減少8,838百万円、未収入金の減少947百万円があったこと等により、2,651百万円の収入（前年同期は340百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出173百万円、有形固定資産の取得による支出45百万円、定期預金の預入による支出37百万円があった一方で、定期預金の払戻による収入604百万円があったこと等により、333百万円の収入（前年同期は427百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払511百万円があったこと等により、514百万円の支出（前年同期は269百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、現時点では2023年10月18日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,339	17,486
受取手形、売掛金及び契約資産	32,075	24,036
電子記録債権	7,174	6,516
商品及び製品	11,370	11,943
原材料及び貯蔵品	1	0
その他	2,859	1,983
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	68,815	61,963
固定資産		
有形固定資産	8,541	8,453
無形固定資産	1,281	1,440
投資その他の資産		
投資有価証券	3,883	4,244
その他	809	676
貸倒引当金	△37	△65
投資その他の資産合計	4,655	4,855
固定資産合計	14,479	14,748
資産合計	83,294	76,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,363	20,343
電子記録債務	5,081	4,286
未払法人税等	1,067	582
賞与引当金	1,224	956
役員賞与引当金	115	58
その他	2,932	3,566
流動負債合計	37,785	29,795
固定負債		
退職給付に係る負債	859	846
その他	270	276
固定負債合計	1,129	1,122
負債合計	38,915	30,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,343	5,343
利益剰余金	31,313	32,265
自己株式	△193	△167
株主資本合計	42,039	43,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,139	1,384
土地再評価差額金	378	378
為替換算調整勘定	410	630
退職給付に係る調整累計額	410	384
その他の包括利益累計額合計	2,339	2,777
非支配株主持分	-	-
純資産合計	44,379	45,794
負債純資産合計	83,294	76,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	45,554	53,647
売上原価	38,178	45,653
売上総利益	7,375	7,994
販売費及び一般管理費	6,051	6,148
営業利益	1,324	1,846
営業外収益		
受取利息	7	25
受取配当金	44	40
仕入割引	10	6
為替差益	255	226
その他	38	67
営業外収益合計	357	366
営業外費用		
支払利息	6	6
その他	9	3
営業外費用合計	16	10
経常利益	1,665	2,202
特別利益		
投資有価証券売却益	3	-
特別利益合計	3	-
特別損失		
関係会社株式評価損	26	-
固定資産除却損	0	1
関係会社株式売却損	26	-
その他	-	0
特別損失合計	52	2
税金等調整前四半期純利益	1,616	2,200
法人税、住民税及び事業税	541	651
法人税等調整額	△1	72
法人税等合計	540	724
四半期純利益	1,076	1,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,076	1,476

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,076	1,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	244
為替換算調整勘定	376	219
退職給付に係る調整額	△44	△26
その他の包括利益合計	319	437
四半期包括利益	1,395	1,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,395	1,914
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,616	2,200
減価償却費	229	164
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△104	△268
受取利息及び受取配当金	△52	△65
支払利息	6	6
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	6,239	8,838
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,810	△471
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,962	△7,987
関係会社株式売却損益 (△は益)	26	-
その他	947	1,281
小計	136	3,698
利息及び配当金の受取額	51	66
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△522	△1,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	△340	2,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	△37
定期預金の払戻による収入	-	604
有形固定資産の取得による支出	△10	△45
無形固定資産の取得による支出	△318	△173
投資有価証券の取得による支出	△308	△15
投資有価証券の売却による収入	6	-
投資有価証券の償還による収入	300	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	96	-
その他	8	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△427	333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△265	△511
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269	△514
現金及び現金同等物に係る換算差額	408	243
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△628	2,713
現金及び現金同等物の期首残高	18,866	14,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,238	17,349

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	18,600	4,827	7,440	14,686	45,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	64	31	12	53	160
計	18,664	4,858	7,452	14,739	45,715
セグメント利益又は損失 (△)	889	△184	△172	832	1,365

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,365
全社費用（注）	300
四半期連結損益計算書の経常利益	1,665

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	21,325	6,013	9,002	17,306	53,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57	49	22	41	171
計	21,383	6,063	9,024	17,347	53,819
セグメント利益又は損失 (△)	1,154	△41	△180	977	1,910

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,910
全社費用（注）	292
四半期連結損益計算書の経常利益	2,202

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。